

体外衝撃波治療について

体外衝撃波とは？

衝撃波を患部に照射する、**整形外科では新しい治療法**です。欧米を中心に普及し、腱付着部炎などの疼痛性疾患の除痛を目的とした治療に応用されております。アスリートを中心に、低侵襲で安全かつ有効な治療として使用されてます。



体外衝撃波の効果は？

衝撃波は組織に照射されることにより、痛覚を感じる神経終末の破壊と機械的な細胞刺激により**除痛と組織修復作用**があります。治療効果や期間は患者様により異なり、平均的治療効果は60～80%と報告されてます。

対象疾患は？

日本国内では、「**難治性の足底腱膜炎**」に対して保険が適用されます。国際衝撃波治療学会では、次の疾患に治療の適応があります。

- 足部 ; 足底腱膜炎、アキレス腱炎、アキレス腱付着部炎
- 膝 ; 膝蓋腱炎
- 肘 ; 上腕骨外上顆炎、上腕骨内上顆炎、
- 肩 ; 石灰沈着性腱板炎
- 骨折 ; 偽関節、疲労骨折
- その他; 早期の離断性骨軟骨炎、早期の骨壊死



治療の流れ

診断: 診察・検査(Xp・超音波検査・MRI)

保存加療: 投薬・ストレッチ・理学療法

3～6ヶ月継続にて効果乏しい

体外衝撃波: 足底腱膜炎(保険適応)、その他(保険適応外); 3週毎に2～3回治療

効果乏しい

手術治療の検討

衝撃波治療の合併症(有害事象)は？

腫脹・発赤・血腫、点状出血、疼痛がありますが、重篤な副作用の可能性は少ないです。

*** 注意 *** 急激な悪化、発熱、腫れなどの症状は、**感染、膠原病など他の疾患**を疑いますので**すぐに診察を受けて下さい**

体外衝撃波治療の治療当日の流れ

*** 治療は予約制となります**

①セッティング(診察室またはリハビリ室にて)

衝撃波の**照射部位**を決定します。疼痛部位、超音波検査器によって決定し、マーキングします。

②照射(リハビリ室にて)

照射部位に衝撃波を、低エネルギーより照射します。
徐々にエネルギーを上げていきます。痛みの程度を確認しながら行います。

③終了(リハビリ室にて)

照射部位の状態を確認し、問題なければ終了です。

④再診

3週後に再度診察し、状態を確認し継続するかどうか決定します。照射後、なにか問題があれば、連絡頂ければ幸いです。

体外衝撃波治療の診療費について

国内では、保険適応があるのは足底腱膜炎のみです。足底腱膜炎でも、6ヶ月以上保存治療をしても効果のない「**難治性の足底腱膜炎**」に対して、**保険適応**となります。難治性の足底腱膜炎以外での治療の方は、自由診療となります。体外衝撃波の負担金は、以下の通りです。

*** 難治性の足底腱膜炎に対して(初診料・再診料、検査費用は別途かかります)**

1割負担の方	5,000円(治療一連につき)
2割負担の方	10,000円(治療一連につき)
3割負担の方	15,000円(治療一連につき)

*** 「難治性の足底腱膜炎」以外の方に対して**

自由診療となります	15,000円(税別)(治療一連につき)
-----------	----------------------

* 衝撃波の診療費は、治療一連につきの費用です。2回目以降の照射については、再診料や検査費用のみとなります。他部位への照射や期間が開いての同部位への再開に関しては、再度衝撃波の診療費を頂くこととなります。

ご不明な点がございましたら、当院スタッフにお尋ね下さい。